

沖震  
トラ  
スマ  
ス地

# 「音楽、踊りで子どもケア」

## AMDAの3人活動報告

医療を中心に国際協力しているNGO「AMDA」

(岡山市櫛津)のメンバー3人が、岡山市内で活動報告した。金山夏子さんは一

昨年12月のスマトラ沖地震

発生直後から、現地インドネシアで緊急支援。「心に

傷を負った子どもたちがたくさんいる。それを癒やせるよう、音楽などの創作活

動を支えていきたい」と、今後の方針を語った。

金山さんは、地震発生翌

日からインドネシアで物資輸送や巡回診療を始め、さら

に長期復興に向けて、今は難民の子どもたちに音楽

や踊りなどの創作活動を教

えていると説明。避難所間を行き来しているAMDAが配達人になり、子ども同士で文通させていることを紹介した。

ほかにオーストラリア人メンバー2人も報告。ヴァ

ージル・ホーキンスさんはザンビアで1998年から

農園運営を支援。「私たちが去った後でも農園が続く

よう、経営が安定するよう努めている」と強調。住民

が自立するには、農業技術とビジネスの両方の指導が

まだ必要だとした。

また、ニティアン・ウィーラヴァグさんは2003

年からスリランカで医療支

援。同じ国内でタミル人、シンハラ人、ムスリムの3

勢力が対立しているため、メンバーが各拠点の北部、南部、東部で公平に活動していると説明。これら3地域のメンバーが意見交換し、交流も深まったと成果を語った。